

# 平成29年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	II-3		指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)																																																																																																																																															
						財政健全化等	×	歳入総額	24,092,868			25,923,850	実質収支比率			4.5	4.9																																																																																																																																													
市町村名	太宰府市		地方交付税種地	1-4		財源超過	×	歳出総額	23,471,610	24,996,519	經常収支比率	92.1	90.4																																																																																																																																																	
						首都	×	歳入歳出差引	621,258	927,331	(※1)	(99.0)	(96.7)																																																																																																																																																	
人口	27年国調(人)	72,168	産業構造(※5)		近畿	×	実質収支	593,659	646,228	財政力指数	0.68	0.68																																																																																																																																																		
	22年国調(人)	70,482			中部	×	単年度収支	-52,569	-20,272	公債費負担比率	11.5	11.2																																																																																																																																																		
	増減率(%)	2.4			過疎	×	積立金	200,619	150,742	健全化判断比率																																																																																																																																																				
住民基本台帳人口(※7)	30.01.01(人)	71,877	第1次	27年国調	22年国調	低開発	×	繰上償還金	97,873	103,057	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	71,454		230	204	指数表選定	○	積立金取崩し額	0	500,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																	
	29.01.01(人)	71,915	0.8	0.7			実質単年度収支	245,923	-266,473	実質公債費比率	0.5	0.2																																																																																																																																																		
	うち日本人(人)	71,530	第2次	5,105	4,838			基準財政収入額	7,091,782	7,074,906	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-0.1		17.5	16.9			基準財政需要額	10,361,415	10,344,549																																																																																																																																																				
	うち日本人(%)	-0.1	第3次	23,804	23,618			標準税収入額等	9,025,276	9,002,393																																																																																																																																																				
		81.7		82.4			經常経費充当一般財源等	12,431,125	11,977,828																																																																																																																																																					
面積(km <sup>2</sup> )	29.60						歳入一般財源等	15,328,491	15,623,757																																																																																																																																																					
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	2,438						地方債現在高	24,179,611	24,491,091																																																																																																																																																					
世帯数(世帯)	29,107						うち公的資金	13,223,294	13,016,818																																																																																																																																																					
職員の状況(※8)																																																																																																																																																														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	24,179,611	24,491,091	債務負担行為額(支出予定額)	6,441,694	6,878,402																																																																																																																																																
	市区町村長	1	9,190		一般職員	304	962,464	3,166	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	-	-	866,180																																																																																																																																															
	副市区町村長	1	7,640		うち消防職員	-	-	-	積立金現在高	297,933	297,837	減債基金	297,933	297,837	その他特定目的基金	1,662,125	1,406,177																																																																																																																																													
	教育長	1	6,840		うち技能労務職員	6	16,620	2,770	財政調整基金	2,993,634	2,793,015																																																																																																																																																			
	議会議長	1	5,400		教育公務員	3	12,192	4,064																																																																																																																																																						
	議会副議長	1	4,860		臨時職員	-	-	-																																																																																																																																																						
	議会議員	16	4,440		合計	307	974,656	3,175																																																																																																																																																						
						ラスバイレス指数			100.4																																																																																																																																																					
<table border="0"> <thead> <tr> <th>一般会計等の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>事業会計の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>公営企業(法適)の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>公営企業(法非適)の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>関係する一部事務組合等一覧 項番</th> <th>組合等名</th> <th>地方公社・第三セクター等一覧 項番</th> <th>団体名</th> <th>(※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(3)</td> <td>国民健康保険事業特別会計</td> <td>(7)</td> <td>水道事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>両筑衛生施設組合</td> <td>(19)</td> <td>太宰府市文化スポーツ振興財団</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>住宅新築資金等貸付事業特別会計</td> <td>(4)</td> <td>介護保険事業特別会計(保険事業勘定)</td> <td>(8)</td> <td>下水道事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合</td> <td>(20)</td> <td>太宰府市国際交流協会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td>(21)</td> <td>太宰府市土地開発公社</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>筑紫自治振興組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>筑紫野太宰府消防組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>山神水道企業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>福岡地区水道企業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>大野城太宰府環境施設組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計			(9)	両筑衛生施設組合	(19)	太宰府市文化スポーツ振興財団		(2)	住宅新築資金等貸付事業特別会計	(4)	介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	(8)	下水道事業会計			(10)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合	(20)	太宰府市国際交流協会				(5)	介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)					(11)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	(21)	太宰府市土地開発公社	○			(6)	後期高齢者医療特別会計					(12)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)												(13)	筑紫自治振興組合(一般会計)												(14)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)												(15)	筑紫野太宰府消防組合												(16)	山神水道企業団												(17)	福岡地区水道企業団												(18)	大野城太宰府環境施設組合			
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																		
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計			(9)	両筑衛生施設組合	(19)	太宰府市文化スポーツ振興財団																																																																																																																																																			
(2)	住宅新築資金等貸付事業特別会計	(4)	介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	(8)	下水道事業会計			(10)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合	(20)	太宰府市国際交流協会																																																																																																																																																			
		(5)	介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)					(11)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	(21)	太宰府市土地開発公社	○																																																																																																																																																		
		(6)	後期高齢者医療特別会計					(12)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)																																																																																																																																																					
								(13)	筑紫自治振興組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(14)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)																																																																																																																																																					
								(15)	筑紫野太宰府消防組合																																																																																																																																																					
								(16)	山神水道企業団																																																																																																																																																					
								(17)	福岡地区水道企業団																																																																																																																																																					
								(18)	大野城太宰府環境施設組合																																																																																																																																																					

(注釈) ※1: 經常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登記されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	8,206,298	34.1	7,652,431	61.0	普通税	7,728,473	94.2	87,631	
地方譲与税	155,298	0.6	155,298	1.2	法定普通税	7,641,469	93.1	87,631	
利子割交付金	15,787	0.1	15,787	0.1	市町村民税	4,006,843	48.8	87,631	
配当割交付金	40,878	0.2	40,878	0.3	個人均等割	109,582	1.3	-	
株式等譲渡所得割交付金	43,280	0.2	43,280	0.3	所得割	3,454,979	42.1	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	185,108	2.3	33,102	
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	257,174	3.1	54,529	
地方消費税交付金	1,155,368	4.8	1,155,368	9.2	固定資産税	3,140,966	38.3	-	
ゴルフ場利用税交付金	6,356	0.0	6,356	0.1	うち純固定資産税	3,140,732	38.3	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	126,807	1.5	-	
自動車取得税交付金	56,984	0.2	56,984	0.5	市町村たばこ税	366,853	4.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-	-	
地方特別交付金	47,386	0.2	47,386	0.4	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	3,616,331	15.0	3,261,459	26.0	法定外普通税	87,004	1.1	-	
普通交付税	3,261,459	13.5	3,261,459	26.0	目的税	477,825	5.8	-	
特別交付税	354,872	1.5	-	-	法定目的税	477,825	5.8	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	10,962	0.1	-	
(一般財源計)	13,343,966	55.4	12,435,227	99.1	事業所税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	17,119	0.1	17,119	0.1	都市計画税	466,863	5.7	-	
分担金・負担金	407,803	1.7	-	-	水利地益税等	-	-	-	
使用料	139,961	0.6	24,018	0.2	法定外目的税	-	-	-	
手数料	238,125	1.0	-	-	旧法による税	-	-	-	
国庫支出金	4,651,051	19.3	-	-	合計	8,206,298	100.0	87,631	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	1,607,295	6.7	-	-					
財産収入	126,235	0.5	56,090	0.4					
寄附金	42,399	0.2	-	-					
繰入金	255,112	1.1	-	-					
繰越金	927,331	3.8	-	-					
諸収入	272,196	1.1	18,981	0.2					
地方債	2,064,275	8.6	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	946,175	3.9	-	-					
歳入合計	24,092,868	100.0	12,551,435	100.0					

区分		平成29年度	平成28年度
徴収率	現・計	99.0	96.2
(%)	年	98.8	95.0
	年	99.2	97.2

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,786,582	実質収支	-172,321
下水道	555,156	再差引収支	-256,606
上水道	39,486	加入世帯数(世帯)	9,585
工業用水道	-	被保険者数(人)	15,493
交通	-	被保険者	95
国民健康保険	574,607	1人当り	95
その他	1,617,333	保険税(料)収入額	108
		国庫支出金	314
		保険給付費	

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況（単位 千円・％）					
目的別歳入の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	205,666	0.9	-	205,662	
総務費	2,875,720	12.3	118,040	2,535,979	
民生費	10,070,039	42.9	280,040	4,647,813	
衛生費	1,491,449	6.4	23,510	1,250,875	
労働費	202,321	0.9	180,328	192,321	
農林水産業費	138,548	0.6	85,714	58,299	
商工費	259,618	1.1	15,202	159,139	
土木費	1,496,447	6.4	524,428	1,128,340	
消防費	818,028	3.5	11,708	798,589	
教育費	3,359,576	14.3	1,445,248	1,970,996	
災害復旧費	18,431	0.1	-	3,431	
公債費	2,535,767	10.8	-	1,755,789	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	23,471,610	100.0	2,684,218	14,707,233	

性質別歳入の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	11,748,930	50.1	6,172,214	6,048,289	44.8
人件費	2,850,287	12.1	2,560,737	2,534,685	18.8
うち職員給	1,908,711	8.1	1,670,834	-	-
扶助費	6,362,876	27.1	1,855,688	1,855,688	13.7
公債費	2,535,767	10.8	1,755,789	1,657,916	12.3
元利償還金	2,535,765	10.8	1,755,787	1,657,914	12.3
内					
うち元金	2,375,755	10.1	1,621,576	1,523,704	11.3
うち利子	160,010	0.7	134,211	134,210	1.0
一時借入金利子	2	0.0	2	2	0.0
その他の経費	9,020,031	38.4	7,816,049	6,382,836	47.3
物件費	3,342,706	14.2	2,757,865	2,583,337	19.1
維持補修費	71,198	0.3	68,508	68,508	0.5
補助費等	2,613,285	11.1	2,482,910	2,147,060	15.9
うち一部事務組合負担金	1,026,803	4.4	1,026,803	863,586	6.4
繰入金	2,191,940	9.3	1,770,636	1,583,931	11.7
積立金	711,073	3.0	709,001	-	-
投資・出資金・貸付金	89,829	0.4	27,129	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,702,649	11.5	718,970	-	-
うち人件費	68,055	0.3	68,055	-	-
普通建設事業費	2,684,218	11.4	715,539	-	-
うち補助	733,005	3.1	61,189	-	-
うち単独	1,946,862	8.3	650,699	-	-
災害復旧事業費	18,431	0.1	3,431	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	23,471,610	100.0	14,707,233	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table showing general accounting financial status with columns for account name, revenue, expenses, formal receipts, actual receipts, other income, local bonds, and notes. Total revenue is 24,093 million yen, total expenses 23,472 million yen, resulting in a surplus of 621 million yen.

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table showing public enterprise accounting financial status with columns for account name, total revenue, total expenses, net income, surplus/deficit, other income, enterprise bonds, left-side general accounting income, and notes. Total revenue is 8,530 million yen, total expenses 8,530 million yen, resulting in a surplus of 3,115 million yen.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

Table showing financial status of related partial task committees with columns for committee name, total revenue, total expenses, net income, surplus/deficit, other income, enterprise bonds, left-side general accounting income, and notes. Total revenue is 37,681 million yen, total expenses 37,681 million yen, resulting in a surplus of 3,453 million yen.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table showing operating status and financial support for local public corporations and third sectors with columns for organization name, operating surplus, net assets, capital from group, group contribution, group loan, debt from group, loss from group, and notes. Total operating surplus is 2 million yen, net assets 115 million yen, capital from group 40 million yen.

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

Table showing public debt service burden status with columns for category, fiscal year 2017, 2018, 2019, and ratio. Total debt service is 11,478,103 million yen in 2019, with a ratio of 0.7.

将来負担の状況

Table showing future liability status with columns for category, fiscal year 2017, 2018, 2019, and ratio. Total future liability is 33,505,021 million yen in 2019, with a ratio of 350.0.

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

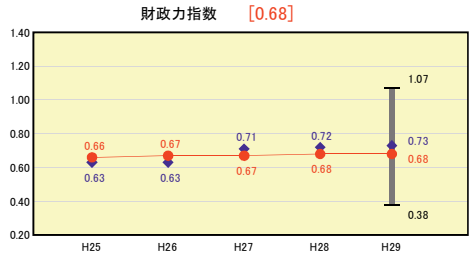
福岡県太宰府市

人口	71,877	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	71,454	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	29.60	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5	%
歳入総額	24,092,868	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	23,471,610	千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実質収支	593,659	千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	13,232,910	千円			
地方債現在高	24,179,611	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表示しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表示しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。  
 ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 財政力



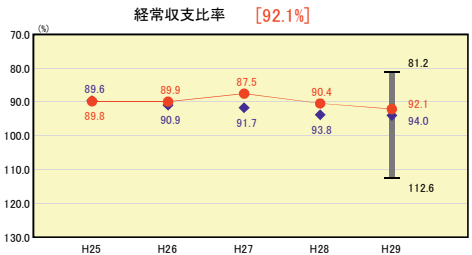
類似団体内順位 50/85 全国平均 0.51 福岡県平均 0.53

**財政力指数の分析欄**

扶助費の増加などにより基準財政需要額が伸びたものの、市税の増などにより、基準財政収入額も伸びたことから、財政力指数は前年と同じ値となった。

大型事業等に乏しい本市においては、法人税収入が他の類似団体のようには見込めないことや今後も社会福祉費の増が予想されることから、さらなる歳入の見直しや、適切な人員配置、行政改革を含めた事務の効率化に努めている。

#### 財政構造の弾力性



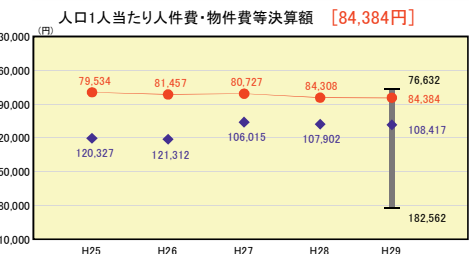
類似団体内順位 29/85 全国平均 92.8 福岡県平均 94.1

**経常収支比率の分析欄**

本市はこれまで職員数の削減や機構の見直し、民間委託の推進など積極的に行政改革を進め、経常収支比率は毎年着実に改善してきたが、平成29年度については市税等が増加したものの、物件費、補助費等、扶助費の増加により、前年と比較し、1.7ポイント上昇となった。

扶助費は増加傾向にあり、公債費は総合体育館整備などの大型事業に係る借入の償還が本格的に開始されることから、今後、さらに財政構造の硬直化が予想されるため、歳入の増加や繰上償還を図りつつ、現在ある事業そのもの見直しなどの改正を行う必要がある。

#### 人件費・物件費等の状況



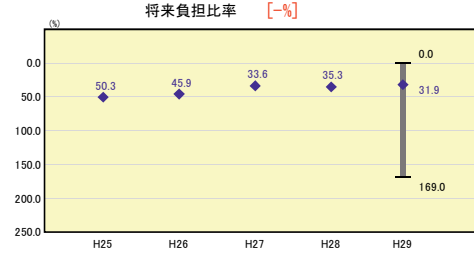
類似団体内順位 6/85 全国平均 131,654 福岡県平均 131,813

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

本市では、総務省が挙げた民間委託すべきとされた業務について、行政改革方針に基づき、そのほとんどを既に委託している。

人件費抑制による委託料等の増加を考慮しても、全体としては全国平均や類似団体の平均決算額を大きく下回っている。

#### 将来負担の状況



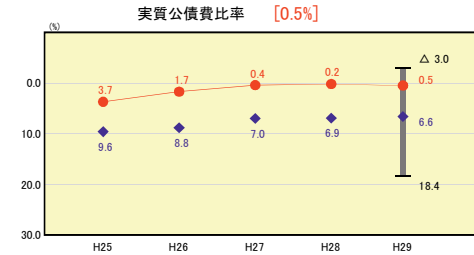
類似団体内順位 1/85 全国平均 33.7 福岡県平均 78.8

**将来負担比率の分析欄**

地方債の現在高は平成29年度の借入額が償還額を下回り、平成28年度と比較して約3億1千1百万円減少したことや、水道事業、下水道事業会計の実質赤字額が減少したことなどから将来負担額は減少し、健全な数値を維持している。

今後も適切に市債残高を管理し、財政の健全化に努めていく。

#### 公債費負担の状況



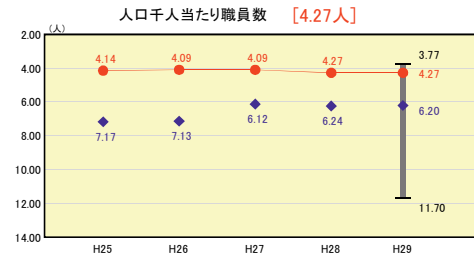
類似団体内順位 7/85 全国平均 6.4 福岡県平均 9.0

**実質公債費比率の分析欄**

本市の償還額は、平成19年度をピークに減少を続けてきたが、平成29年度の実質公債費比率は0.3ポイント悪化した。この理由としては、子育て支援センター建設事業の公債費の本格的な償還、総合体育館整備事業の一部償還が始まったことが大きい。

今後も公債費は増加見込みであり、新規発行に際しては、元利償還に交付税措置等があるものを選択するよう努める他、償還額以上の新規発行を行わないなど、適切に市債残高を管理しつつ、中長期的に償還額が平準化されるよう勘案し、実質公債費比率の安定化を図る。

#### 定員管理の状況



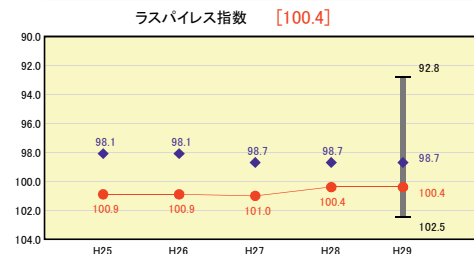
類似団体内順位 4/85 全国平均 7.91 福岡県平均 7.92

**人口千人当たり職員数の分析欄**

平成17年策定の集中改革プランに基づき、機構改革や定年退職者の不補充等により職員数の削減を図ってきた結果、目標値を上回り、全国平均と比べても極めて効率的な運営形態を実現している。今後、大量退職が見込まれるが、各種権限移譲や行政サービスとのバランスを考慮しつつ、適切な定員管理に努める。

※平成29年度は平成28年度数値を引用。(職員数:平成28年度数値、人口:平成30年1月1日現在の人口)なお、平成29年度類似団体関係数値(平均値、最大値及び最小値、順位)は、平成29年度選定団体によるもの。

#### 給与水準(国との比較)



類似団体内順位 65/85 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.4

**ラスパイレス指数の分析欄**

今後も各種手当の総点検を行うとともに、職員の能力・業績の適正な評価を行うべく人事評価制度を推進していく。

※平成29年度は平成28年度数値を引用。なお、平成29年度類似団体関係数値(平均値、最大値及び最小値、順位)は、平成29年度選定団体によるもの。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

福岡県太宰府市

## 経常収支比率の分析

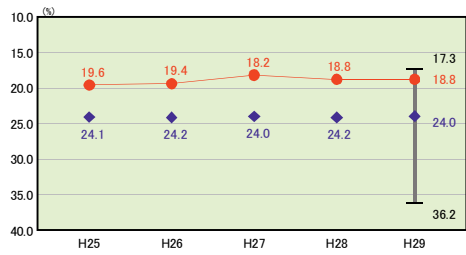
人口	71,877	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	71,454	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	29.60	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5	%
歳入総額	24,092,868	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	23,471,610	千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実質収支	593,659	千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	13,232,910	千円			
地方債現在高	24,179,611	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登記されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

### 人件費

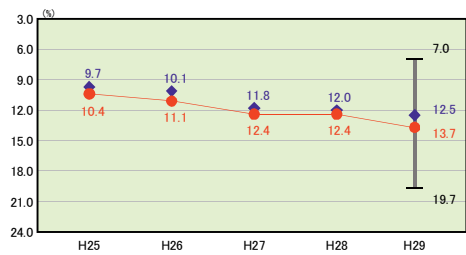
類似団体内順位 9/85 全国平均 25.6 福岡県平均 25.3



**人件費の分析欄**  
 他の類似団体と比較してもコンパクトな自治体運営を実現している。これは、早くから民間委託を推進してきたことや、定年退職者の不補充等により、積極的な人件費削減に努めた結果である。今後、大量退職が見込まれるが、各種権限移譲や行政サービスとのバランスを考慮しつつ、適切な定員管理や人事評価制度を用いた給与体系の見直し等に努め、人件費の抑制に努める。

### 扶助費

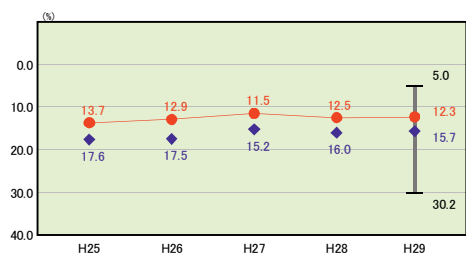
類似団体内順位 59/85 全国平均 12.4 福岡県平均 13.8



**扶助費の分析欄**  
 介護・訓練等給付費、障がい児通所支援給付費などの伸びにより、平成28年度から1.3ポイント増となった。今後も伸びが見込まれることから、適正な審査や就労支援等を行うことにより、財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。

### 公債費

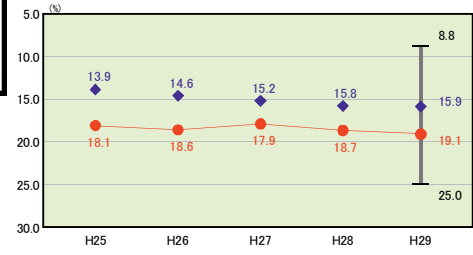
類似団体内順位 20/85 全国平均 16.9 福岡県平均 18.6



**公債費の分析欄**  
 本市の公債費は平成19年度にピークを迎え、減少傾向が続いているため、近年は類似団体を下回る数値で推移してきた。平成29年度から子育て支援センター事業や総合体育館整備事業に係る公債費の償還が始まり、今後も大型事業の本格的な償還開始により公債費は増加見込みであることから、繰上償還等により、適切に市債残高を管理するなど、中長期的に償還額が平準化されるよう留意する。

### 物件費

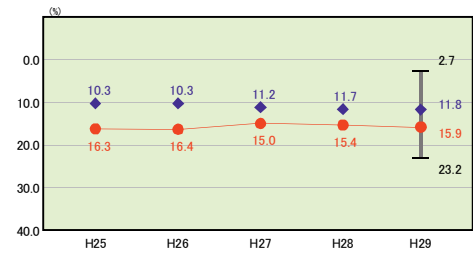
類似団体内順位 70/85 全国平均 14.5 福岡県平均 13.7



**物件費の分析欄**  
 物件費に係る経常収支比率は類似団体平均より3.2ポイント高いが、その原因は、行政改革方針に基づき、業務の民間委託化が進んだ結果である。今後も効率的な行政運営により物件費の上昇抑制に努める。

### 補助費等

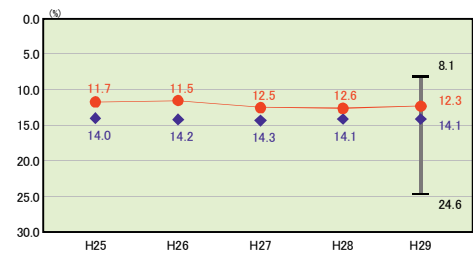
類似団体内順位 72/85 全国平均 10.1 福岡県平均 10.0



**補助費等の分析欄**  
 類似団体の平均を上回る結果が続いている。これは、ごみ処理や消防など、広域で実施することで効率が高まる事業について、積極的に近隣市町と一部事務組合を構成し、実施しているためである。消防組合やごみ処理施設の大型施設の整備に係る償還に対する負担増が予想されることから、今後も一部事務組合に対し、予算や事業計画等の適正化を促すなど、負担額の平準化に努める。

### その他

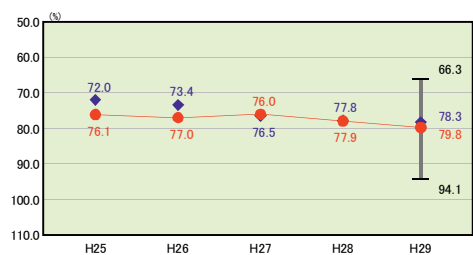
類似団体内順位 25/85 全国平均 13.3 福岡県平均 12.7



**その他の分析欄**  
 その他に係る経常収支比率は、近年後高齢者医療特別会計繰出金及び介護保険事業特別会計繰出金が増加傾向にあるものの、類似団体の平均を下回っている。今後は、公共施設に対する維持補修の需要増が予想されることから、予算や事業計画のさらなる適正化とコスト削減に努めていく。

### 公債費以外

類似団体内順位 51/85 全国平均 75.9 福岡県平均 75.5



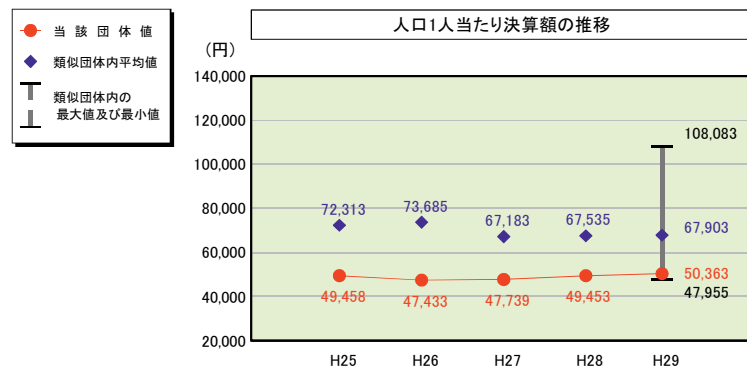
**公債費以外の分析欄**  
 介護・訓練等給付関係費等の伸びにより扶助費が増加したことや、一部事務組合の施設整備等にかかる負担金の増により補助費等が増加したことにより1.9ポイントの増となった。扶助費や補助費等については今後も高い水準を維持することが見込まれるため、優先度に応じて計画的に事業廃止・縮小を進めるなど、さらなる経常経費の削減に努める。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

福岡県太宰府市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

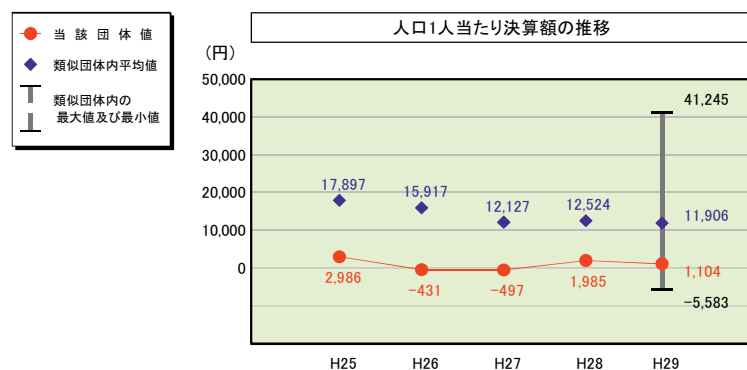
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,850,287	39,655	57,316	▲ 30.8
賃金(物件費)	227,176	3,161	3,762	▲ 16.0
一部事務組合負担金(補助費等)	558,735	7,773	6,408	21.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	6,978	97	891	▲ 89.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	175,645	2,444	2,694	▲ 9.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	68,055	947	1,362	▲ 30.5
▲退職金	▲ 266,959	▲ 3,714	▲ 4,530	▲ 18.0
合計	3,619,917	50,363	67,903	▲ 25.8

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	4.27	6.20	▲ 1.93
ラスパイレス指数	100.4	98.7	1.7

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

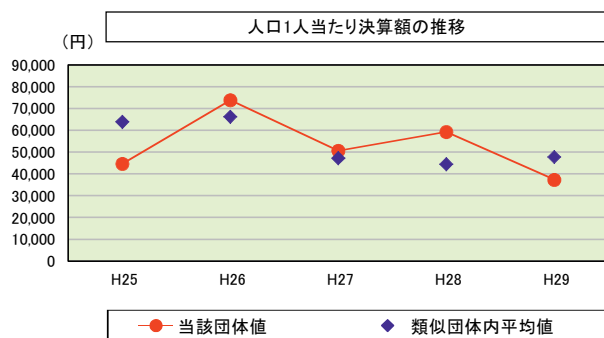


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,437,892	33,918	34,720	▲ 2.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	22	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	425,156	5,915	9,232	▲ 35.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	75,577	1,051	2,017	▲ 47.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	58,978	821	1,146	▲ 28.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 1,163,475	▲ 16,187	▲ 6,713	141.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,754,807	▲ 24,414	▲ 28,519	▲ 14.4
合計	79,321	1,104	11,906	▲ 90.7

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

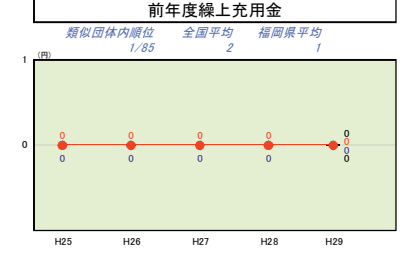
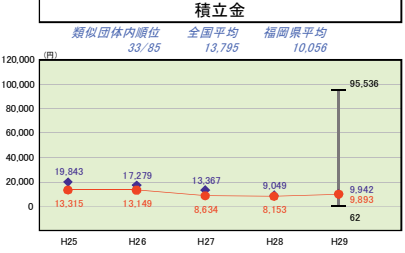
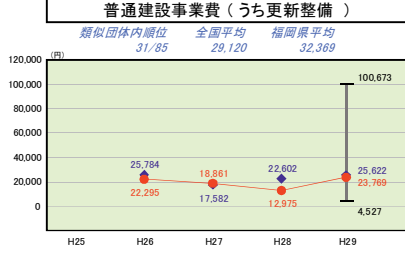
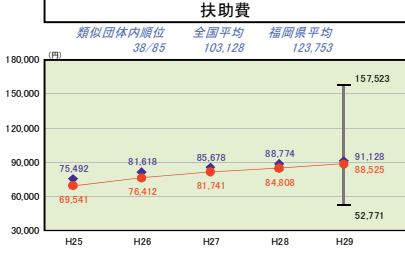
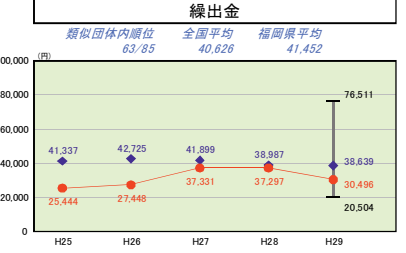
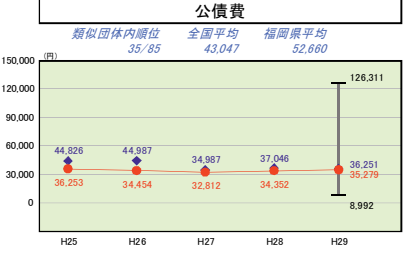
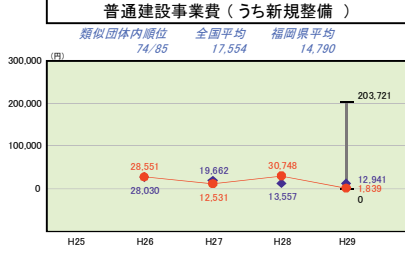
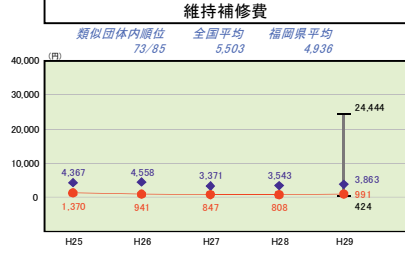
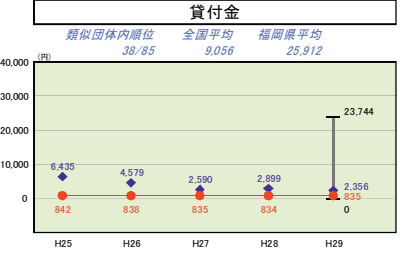
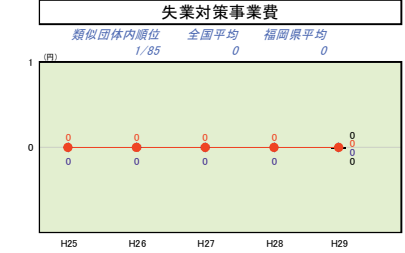
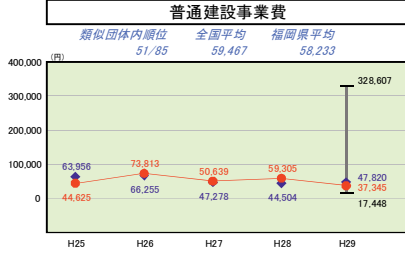
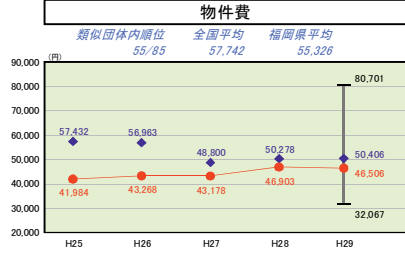
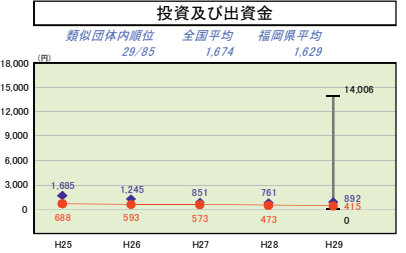
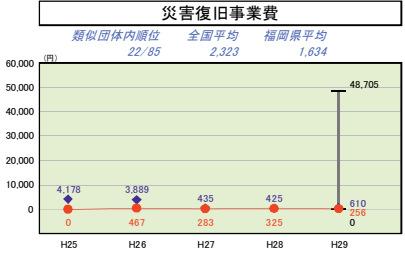
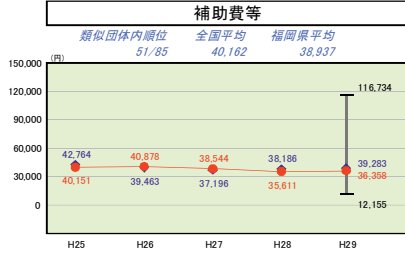
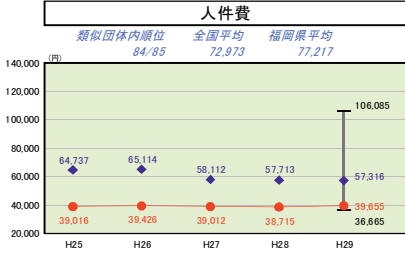
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	3,179,307	44,625	28.7	63,956	25.7	3.0
うち単独分	2,211,181	29,036	29.3	29,239	8.8	20.5
H26	5,283,958	73,813	65.4	66,255	3.6	61.8
うち単独分	4,036,364	56,385	81.7	31,822	8.8	72.9
H27	3,638,684	50,639	▲ 31.4	47,278	▲ 28.6	▲ 2.8
うち単独分	2,771,101	38,565	▲ 31.6	24,096	▲ 24.3	▲ 7.3
H28	4,264,913	59,305	17.1	44,504	▲ 5.9	23.0
うち単独分	2,638,604	36,691	▲ 4.9	25,876	7.4	▲ 12.3
H29	2,684,218	37,345	▲ 37.0	47,820	7.5	▲ 44.5
うち単独分	1,946,862	27,086	▲ 26.2	25,855	▲ 0.1	▲ 26.1
過去5年間平均	3,810,216	53,145	8.6	53,963	0.5	8.1
うち単独分	2,720,822	37,953	9.7	27,378	0.1	9.6

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

人口	71,877人(現)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	71,454人(現)	連結実質赤字比率	-	%
面積	29.60km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5	%
歳入総額	24,092,868千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	23,471,610千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実質収支	593,659千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	13,232,910千円			
地方債現在高	24,179,611千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ↑ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析欄

人件費や物件費、普通建設事業費などで類似団体の平均決算額を下回っている。  
 このうち、普通建設事業費については、総合体育館建設事業の完了や史跡地公有化事業や歴史まちづくり事業が減額となったため、前年度と比較して減となっているが、学校等公共施設の改修や史跡地の買い上げは今後数年間に渡って計画されている。  
 一方、扶助費、補助費、公債費、積立金などは類似団体の平均並みとなっているが、扶助費については年々増加の一途であり、今後もこの傾向が続くことが見込まれる。  
 扶助費の伸びと併せ、普通建設事業費にかかる経費により財政の硬直化が予測されることから、計画の大幅な見直しや、廃止を含めた事業の選択を行う必要がある。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

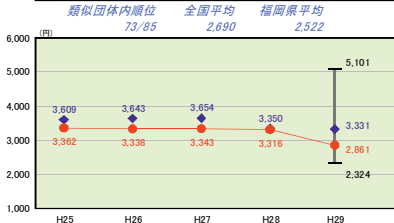
福岡県太宰府市

人口	71,877人(80.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	71,454人(80.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	29.60km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5	%
歳入総額	24,092,868千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	23,471,610千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実質収支	593,659千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	13,232,910千円			
地方債現在高	24,179,611千円			

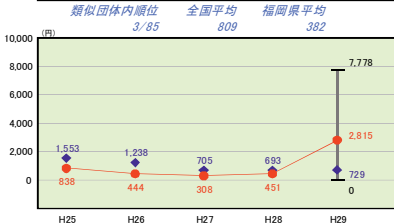


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

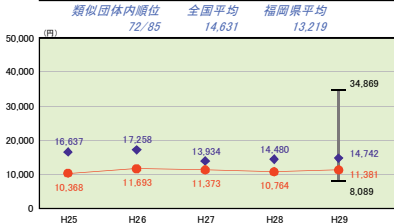
**議会費**



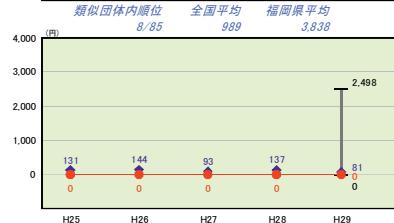
**労働費**



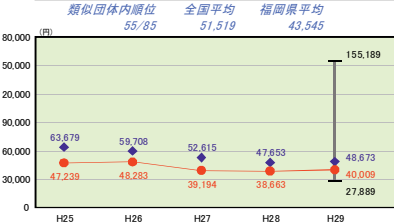
**消防費**



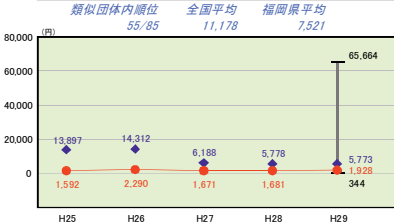
**諸支出金**



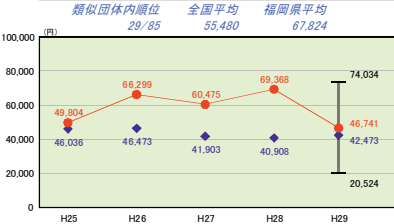
**総務費**



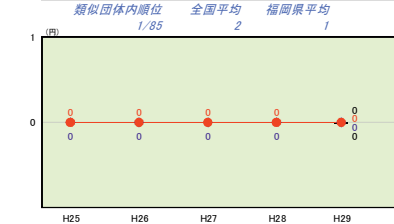
**農林水産業費**



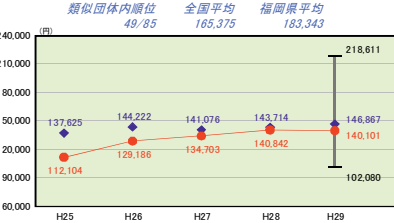
**教育費**



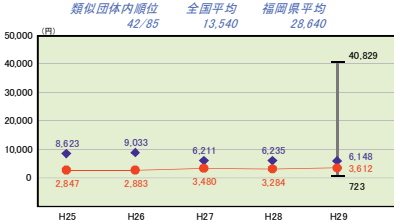
**前年度繰上充用金**



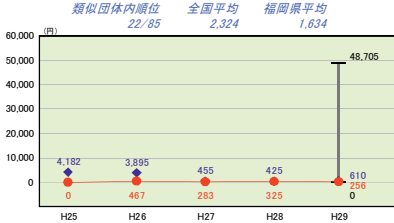
**民生費**



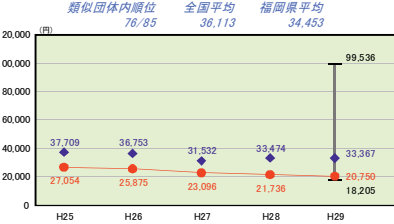
**商工費**



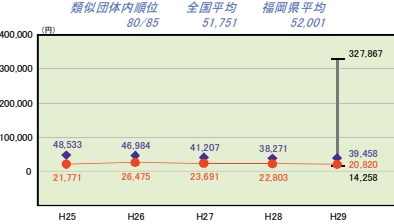
**災害復旧費**



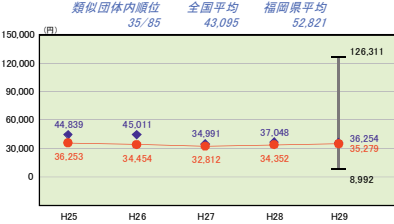
**衛生費**



**土木費**



**公債費**



**目的別歳出の分析欄**

ほとんどの目的別決算額は全国平均を下回っている。  
 教育費については、例年類似団体平均や全国平均と比較して上回っているが、これは、大宰府政庁跡をはじめ3つの特別史跡を有する本市の特色であり、史跡整備など文化財に係る経費が他自治体と比較し突出している。なお、平成29年度については、総合体育館建設事業が終了したことにより減となった。  
 平成29年度、労働費が全国平均を大幅に上回った要因は、シルバー人材センター事務所移転に伴う建設事業のためである。

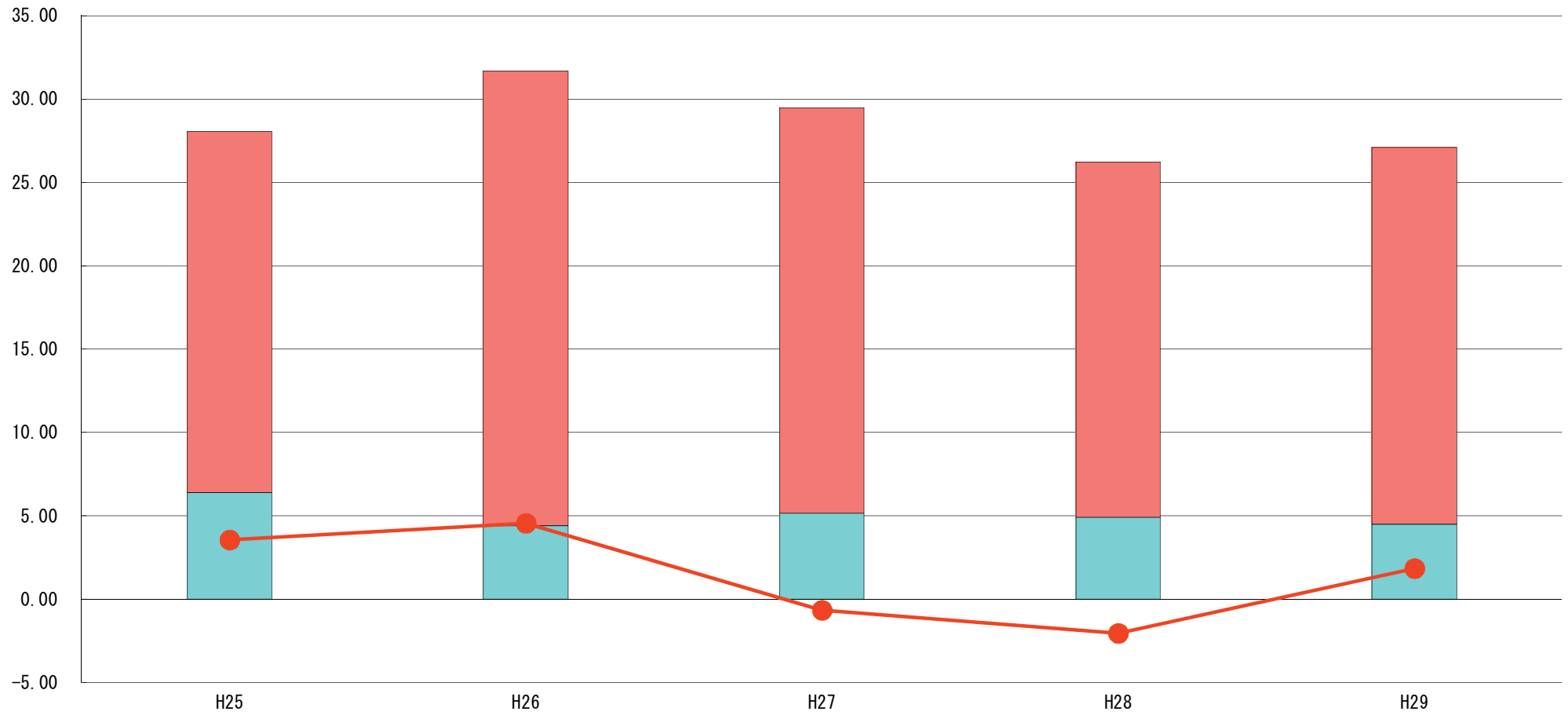


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成29年度

福岡県太宰府市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		21.68	27.25	24.31	21.29	22.62
 実質収支額		6.39	4.42	5.16	4.93	4.49
 実質単年度収支		3.57	4.56	▲ 0.66	▲ 2.03	1.86

## 分析欄

平成15年の豪雨災害をきっかけに残高は年々減少し、平成19年度末には3億2千7百万円まで落ち込んだものの、その後毎年の実質収支において一定の黒字を出し続け、その中から可能な限り積み立ててきた。平成29年度は取崩しを行わなかったことから、基金残高は増となった。

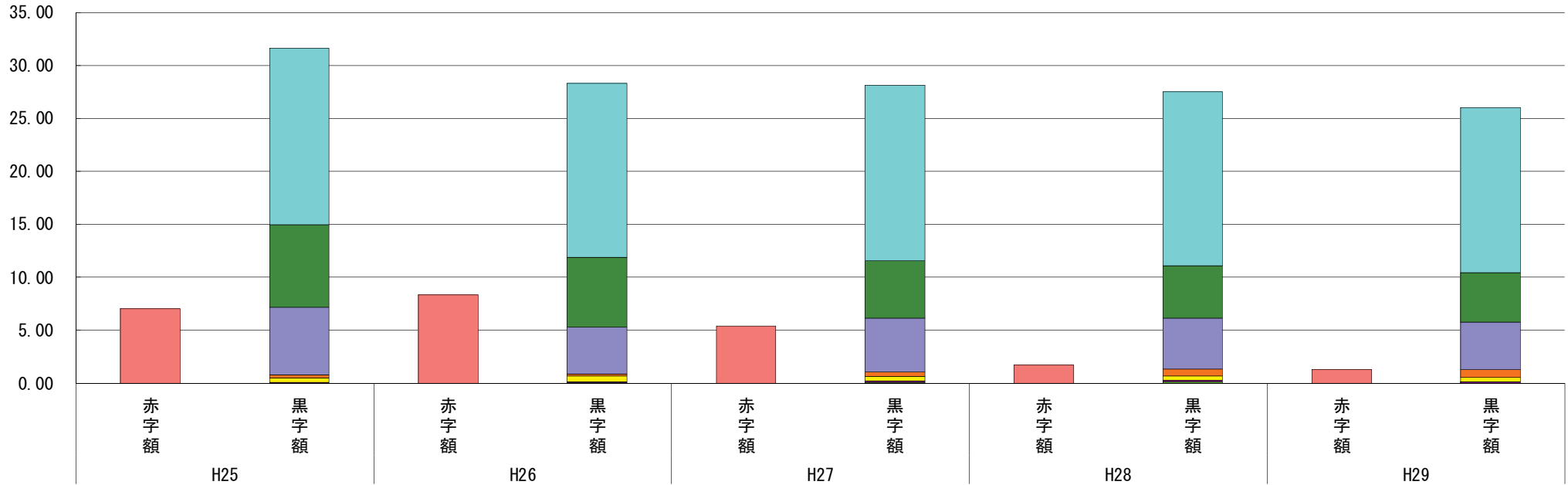
平成29年度の実質単年度収支は、単年度収支が▲約5千3百万円となったものの、積立金約2億円、繰上償還約9千8百万円としたことで、前年度から3.89ポイントを上げた。

## (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成29年度

福岡県太宰府市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
国民健康保険事業特別会計		▲ 7.04	▲ 8.36	▲ 5.40	▲ 1.69	▲ 1.30
水道事業会計		16.63	16.40	16.59	16.44	15.59
下水道事業会計		7.82	6.62	5.42	4.97	4.69
一般会計		6.38	4.39	5.07	4.80	4.47
介護保険事業特別会計（保険事業勘定）		0.29	0.23	0.42	0.67	0.75
後期高齢者医療特別会計		0.40	0.54	0.43	0.40	0.41
介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）		0.09	0.10	0.14	0.14	0.14
住宅新築資金等貸付事業特別会計		0.00	0.02	0.07	0.12	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.00	0.00	0.00	-

### 分析欄

国民健康保険事業特別会計については、独立採算の原則により、一般会計から赤字補てん的な繰出しを行っていなかったが、平成30年度から県と共同で事業を運営することになるため、これに向けて国民健康保険税の改定を行いながら、平成27年度、平成28年度と一般会計からの繰出しを行い赤字分の解消を図ってきたところであり、同会計の平成29年度実質収支額は、▲約1億7千2百万円となった。

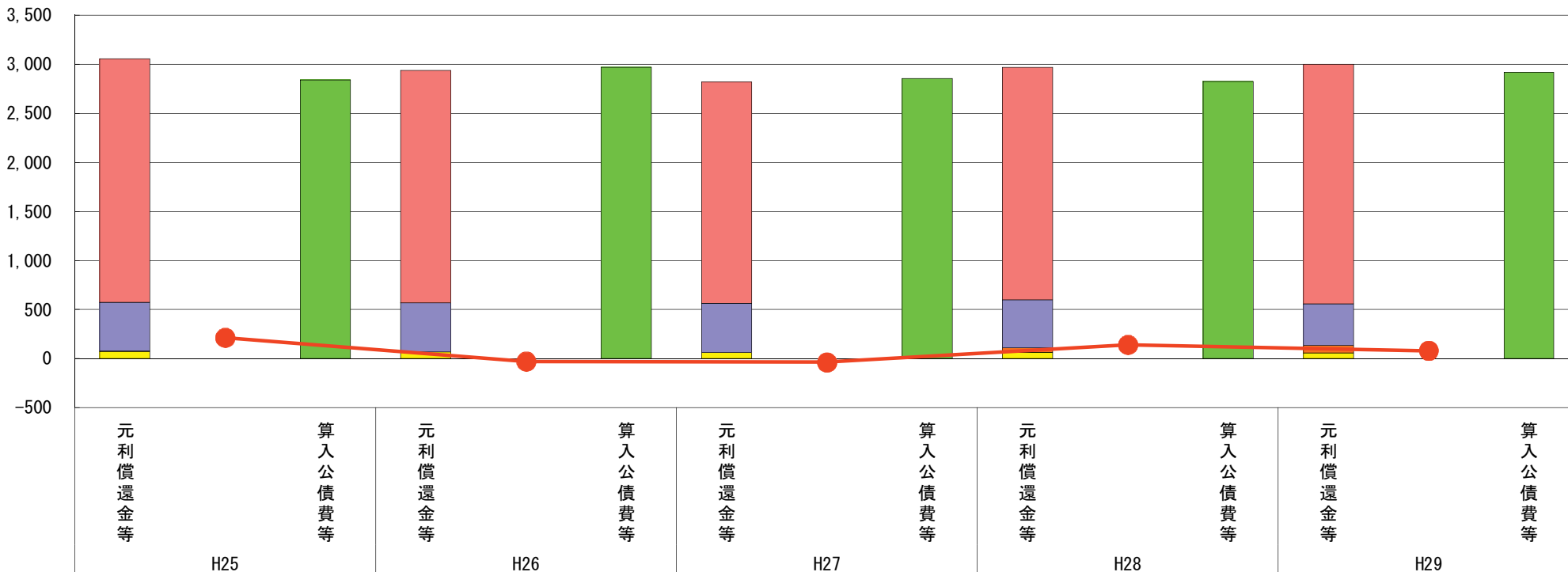
その他の会計については、おおむね安定した黒字額で推移している。

### (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

福岡県太宰府市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等(A)	元利償還金		2,481	2,369	2,255	2,367	2,438
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		495	504	499	492	425
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		4	-	2	47	76
	債務負担行為に基づく支出額		75	67	63	62	59
	一時借入金の利子		-	0	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		2,842	2,970	2,856	2,826	2,918
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		213	▲ 30	▲ 37	142	80

**分析欄**

元利償還金については、前年度と比較し、子育て支援センター整備事業の償還や、総合体育館整備事業の一部償還など、大型事業に係る借入の償還が開始となったことにより7千1百万円増額となった。

今後も総合体育館整備事業に係る借入の償還が本格的に始まるなど、元利償還金が増加する予定であるため、可能な限り後年度の元利償還に対し交付税措置等があるものを選択し、実質公債費比率の安定化を図る。

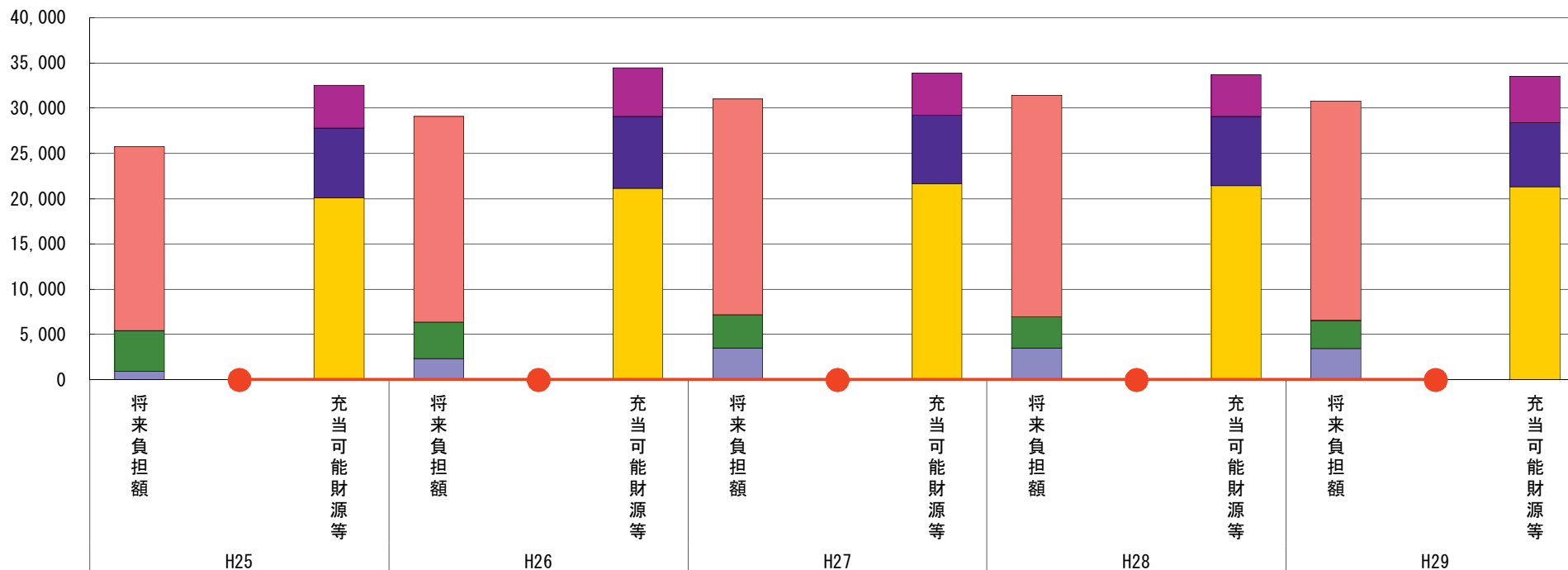
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

福岡県太宰府市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		20,337	22,755	23,856	24,491	24,180
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	18
	公営企業債等繰入見込額		4,517	3,997	3,671	3,432	3,115
	組合等負担等見込額		917	2,345	3,516	3,525	3,453
	退職手当負担見込額		-	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		4,741	5,344	4,683	4,634	5,141
	充当可能特定歳入		7,680	7,949	7,546	7,607	7,066
	基準財政需要額算入見込額		20,118	21,146	21,643	21,453	21,298
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 6,767	▲ 5,342	▲ 2,827	▲ 2,246	▲ 2,739

## 分析欄

地方債の現在高については、大型施設整備事業などの借入により増加してきているが、平成29年度は借入額が償還額を下回ったため、前年度と比較して減少し、将来負担額全体としても減となった。

充当可能財源等については、充当可能基金は増加したものの全体では減少した。

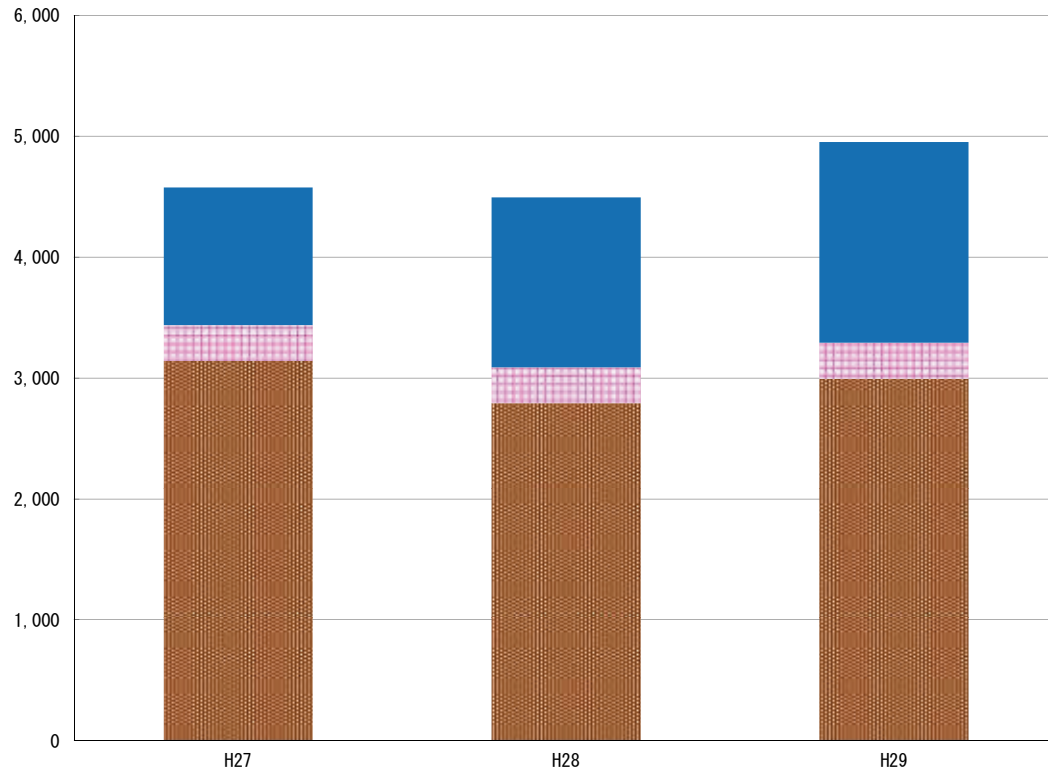
結果として、将来負担比率の分子は減少し、健全な数値を維持している。

今後も適時繰上償還を行うなど、適切な市債管理に努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		3,142	2,793	2,994
減債基金		298	298	298
その他特定目的基金		1,139	1,406	1,662
公共施設整備基金		409	613	747
地域福祉基金		273	323	423
国際交流振興基金		190	190	190
歴史と文化の環境整備基金		116	121	129
住宅新築資金等公債償還積立金		40	50	66
基金残高合計		4,579	4,497	4,954

平成29年度

福岡県太宰府市

## 基金全体

（増減理由）

・平成29年度は市税の伸びや、ふるさと納税の拡充、国・県補助金の活用など財源の確保に努めたことと併せて、歳出では限られた予算の中での各種事業の執行を行った結果、黒字決算となったことから財政調整基金の取崩しを行わなかった。  
 ・公共施設改修事業の財源として公共施設整備基金を1億7千2百万円、歴史と文化の環境整備基金を約7千9百万円取崩したが、平成28年度決算剰余金を基に、財政調整基金に約2億1百万円、公共施設整備基金に約3億6百万円、地域福祉基金に1億円を積立てたことで、基金全体として平成28年度末と比較し、約4億5千7百万円増となった。

（今後の方針）

・今後も財源の確保や経費削減、事業の見直しなどに努め、決算剰余金については財政調整基金、公共施設整備基金、地域福祉基金への優先的な積み立てを行い、安定した財政運営に努める。

## 財政調整基金

（増減理由）

・決算が黒字であったことから、取崩しを行わなかったことに加え、前年度決算剰余金から約2億1百万円を積立てた。

（今後の方針）

・災害などへの備えを考慮すると基金残高は十分とは言えないことから、今後も決算剰余金から可能な限り積立てを行う。

## 減債基金

（増減理由）

・増減なし。

（今後の方針）

・大型事業で行った借入の繰上償還に備えて、決算剰余金から可能な限り積立てを行う。

## その他特定目的基金

（基金の用途）

・公共施設整備基金…公共施設等の計画的な整備  
 ・地域福祉基金…高齢者等の保健福祉の増進  
 ・歴史と文化の環境整備基金…歴史的文化遺産及び観光資源等の保全と整備

（増減理由）

・公共施設整備基金については対象事業の執行に伴い1億7千2百万円取崩したが、前年度決算剰余金を基に約3億6百万円の積立てを行った。  
 ・地域福祉基金については前年度決算剰余金を基に1億円を積立てた。

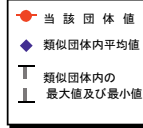
（今後の方針）

・公共施設については老朽化に伴い多くの施設で更新時期を迎え事業費の増大が見込まれることから、今後も決算剰余金のうち一定額については優先的に公共施設整備基金へ積立て、計画的な公共施設の整備・管理に努める。

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

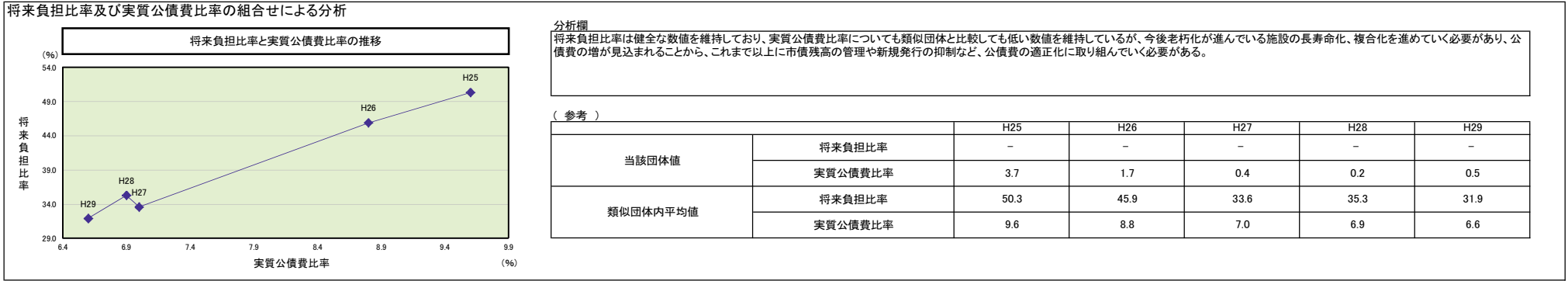
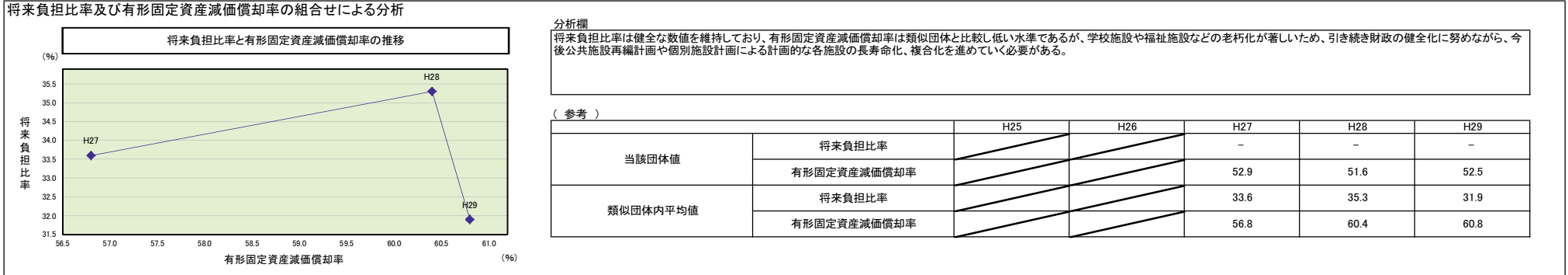
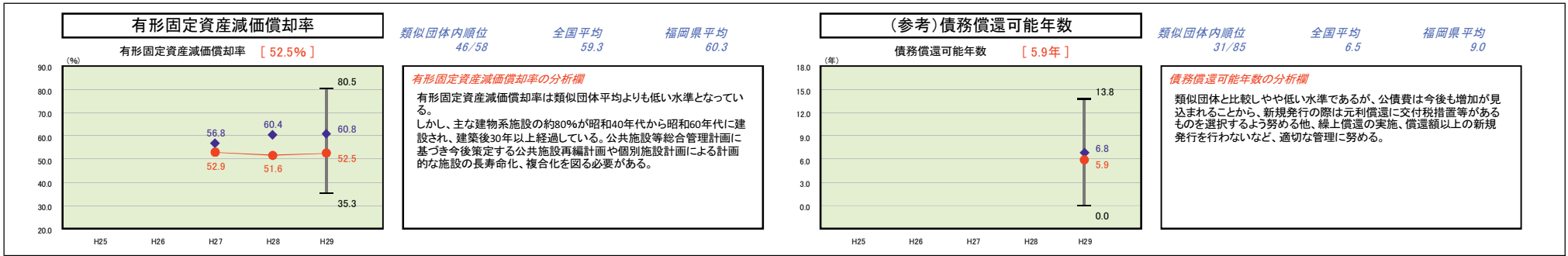
平成29年度

福岡県太宰府市



人口	71,877人	(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	71,454人	(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	29.60	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5	%	
歳入総額	24,092,868	千円	将来負担比率	-	%	
歳出総額	23,471,610	千円	市町村類型	H25 II-1	H26 II-1	H27 II-3
実質収支	593,659	千円	(年度毎)	H28 II-3	H29 II-3	
標準財政規模	13,232,910	千円				
地方債現在高	24,179,611	千円				

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出してない団体については、債務償還可能年数、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

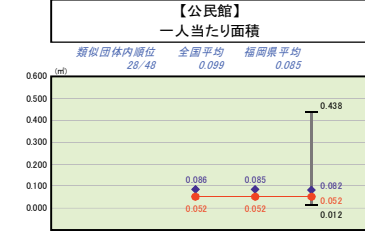
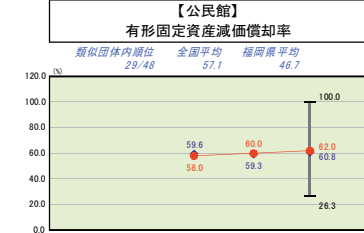
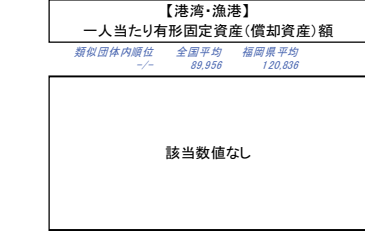
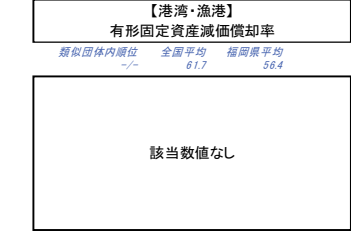
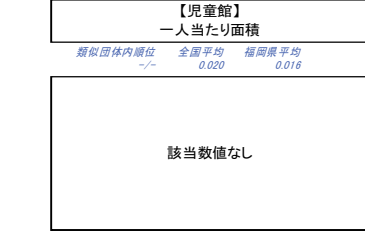
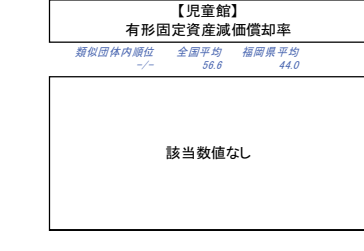
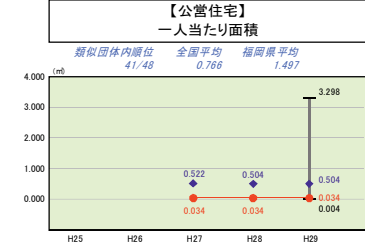
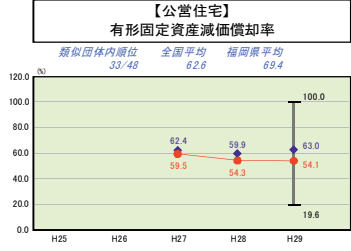
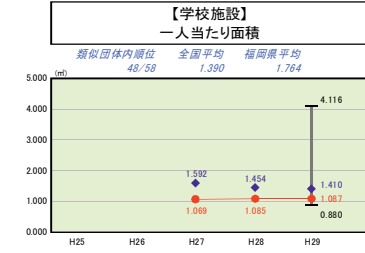
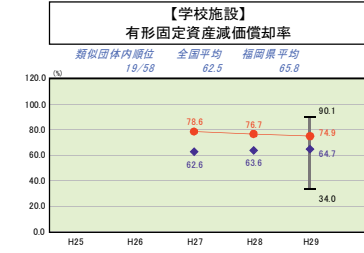
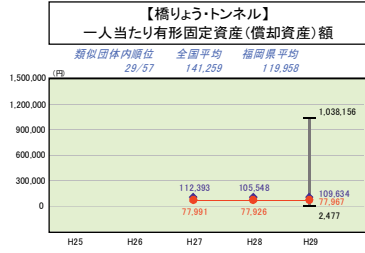
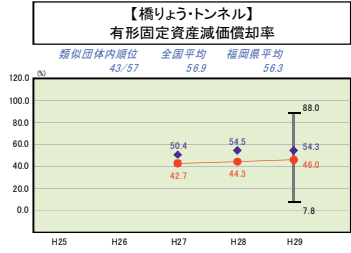
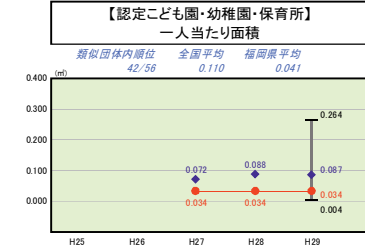
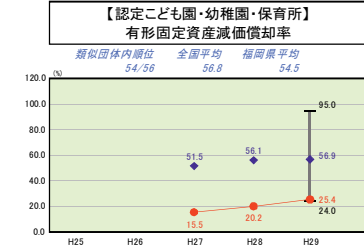
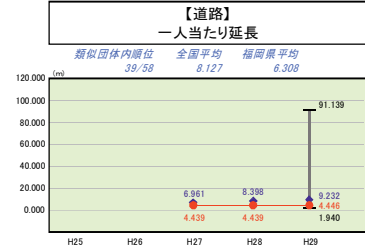
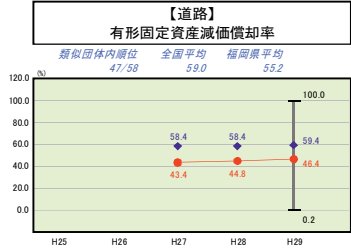
平成29年度

福岡県太宰府市

人口	71,877人(930.11現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	71,454人(930.11現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	29.60km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5%
歳入総額	24,092,868千円	将来負担比率	-%
歳出総額	23,471,610千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3
実質収支	593,659千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3
標準財政規模	13,232,910千円		
地方債現在高	24,179,611千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



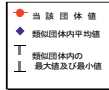
**施設情報の分析値**  
 ほとんどの類型において施設の一人あたり面積等は類似団体と比較して少ない。  
 有形固定資産減価償却率が類似団体と比較して特に高いのは学校施設であり、特に低いのは認定こども園・幼稚園・保育所である。  
 学校施設は昭和40、50年代に建設が集中し、有形固定資産減価償却率が74.9%となっており老朽化が進んでいる。  
 認定こども園・幼稚園・保育所が特に低いのは保育所の内、こしよ保育所を平成26年度に移転新築したためである。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

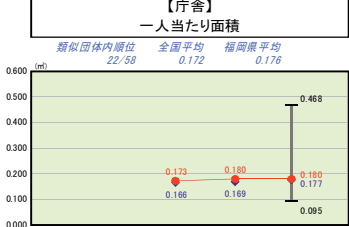
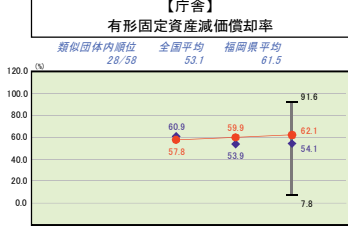
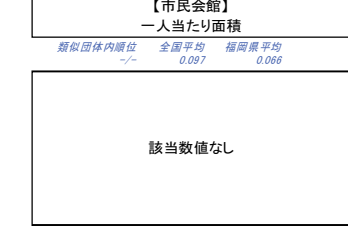
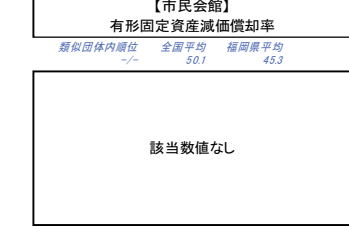
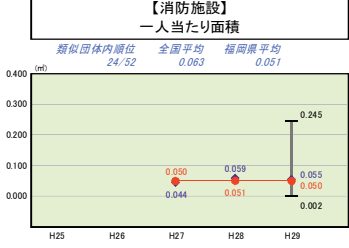
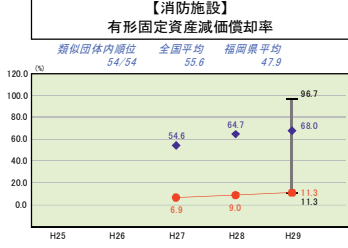
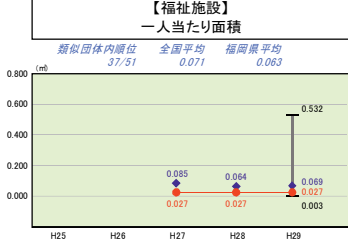
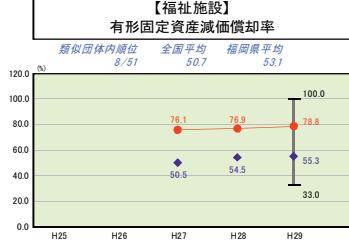
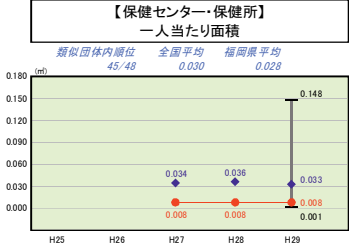
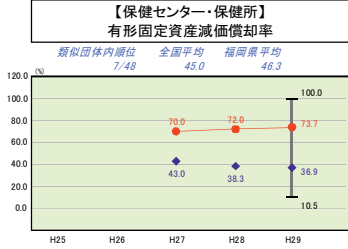
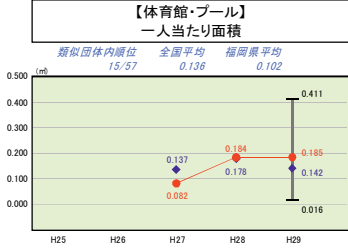
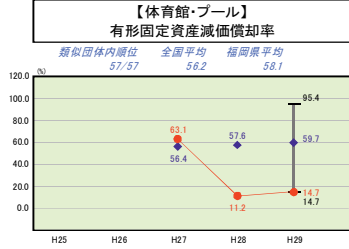
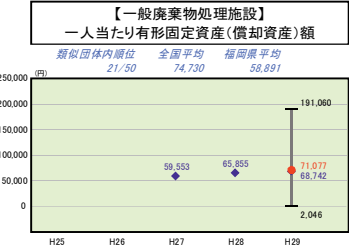
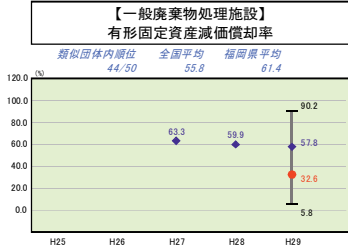
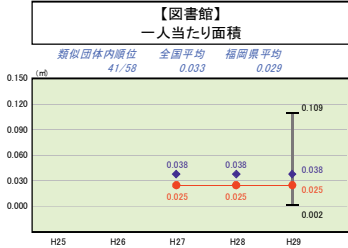
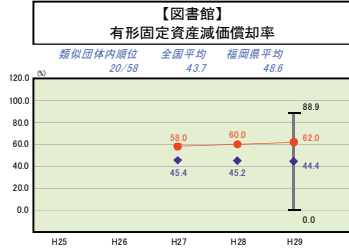
平成29年度

福岡県太宰府市

人口	71,877人(930.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	71,454人(930.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	29.60km <sup>2</sup>	実質公債費比率	0.5%
歳入総額	24,092,868千円	将来負担比率	-%
歳出総額	23,471,610千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3
実質収支	593,659千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3
標準財政規模	13,232,910千円		
地方債現在高	24,179,611千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**施設情報の分析確**  
 類似団体と比較して有形固定資産減価償却率が特に高いのは福祉施設、保健センターで、特に低いのは体育館・プール、消防施設である。  
 福祉施設は昭和51年建設の老人福祉センターで有形固定資産減価償却率が78.8%、いきいき情報センターにある保健センターは有形固定資産減価償却率が73.7%と高く、老朽化が進んでいる。  
 体育館・プールは平成28年度に総合体育館建設、消防施設は筑紫野太宰府消防組合が平成22年度に太宰府消防署、平成27年度に消防本部及び筑紫野消防署を建て替えたため、特に低くなっている。